



おんていふふふ  
作品紹介

今月の作品は、  
バレンタインにちなんで、  
ハートいっぱいの  
壁飾りになりました。  
トラの2匹もラブラブですね♡



感染予防対策を十分に  
行なった上で実施しています。

# 三野原病院

リハビリテーション部  
勉強会 **みんな勉**

今回は、リハビリテーション部で定期開催している勉強会、「みんな勉」の特集です。  
12月に行われた「前鋸筋」についてと2月に行われた「日常生活の評価（FIM）」についてご紹介します。  
この、勉強会は、各個人の専門知識や技術を高め、  
リハビリの質をもっとよくしよう！！という目的で行われています！！  
各スタッフのレベルアップに努め、より良いリハビリを提供できるように頑張ります。

## 前鋸筋のリラクゼーション ぜんきょきん

「前鋸筋」の触診とリラクゼーションの研修をしました。

前鋸筋は肩甲骨周りにある筋肉のひとつです。

素早いパンチや物を引き寄せるときに活躍します。

スマホ首のような方は猫背のような姿勢になっているので  
「前鋸筋」がカチカチになりやすいといわれます。  
肩のリラクゼーションをしてきれいな姿勢に  
みんなでなりましょう。



触診の研修を受けて  
肩甲骨の基本的な動きの復習や  
実際に触診をして「前鋸筋」を  
触ることができました。  
肩の痛み、動きにくさのアプローチ  
として活用していきたいです。



今後、FIMの評価  
を詳しくご紹介し  
ていきます！！

## 日常生活動作 FIM の評価について

リハビリでは、普段の生活がどの程度自分でできるかや  
どのような時に介助が必要かを判断する必要があります。

「普段している日常生活動作」、例えば更衣やトイレ、移動、  
コミュニケーションなどを評価する方法のひとつに  
FIM（フィム）があります。

これは、点数が高いほど日常生活の自立度が高く、  
逆に、点数が低ければ生活上に介助が必要な状態です。  
また、動作能力があっても、日常生活で動作をやっていなければ  
点数は低くなってしまいます。

常に変化する、患者様の状態を把握し、  
より良いリハビリに繋がられるように私たちも日々勉強しています。



今回の研修を受けて、  
患者様の病棟での生活を観察し  
評価を頑張っていこうと思いました。  
在宅生活に繋げる上でも、より実践的な  
評価といえます。  
積極的に、FIMの評価を活用して  
患者様の能力アップに努めていきます！

